

2017年4月4日

心臓血管外科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2007年12月～2019年3月の間に、大動脈解離もしくは解離性大動脈瘤で入院し、ステントグラフトによる治療を受けられた方

【研究課題名】

大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討

【研究責任者】	松田 均	国立循環器病研究センター心臓血管外科部長
【共同研究者】	麻田達郎	北播磨総合医療センター 心臓血管外科
	顔 邦男	北播磨総合医療センター 副院長兼心臓血管外科部長
	山田章貴	北播磨総合医療センター 心臓血管外科主任医長

【研究の目的】

大動脈解離に対するステントグラフト内挿術の治療効果を調査するため

【利用するカルテ情報・資料】

年齢・性別・既往歴・大動脈解離に関する所見（発症時期・手術の既往・破裂や臓器虚血の有無・大動脈径・エントリーやリエントリーの部位・肋間動脈や腰動脈と腹部主要分枝の分枝形態・偽腔の血栓閉鎖の状況）・ステントグラフト（種類・径・長さ）・補助的な治療について・術後の経過・治療効果（大動脈径などについて、概ね術後3カ月、6カ月、以後6か月毎に観察します）

【研究期間】

2017年4月4日より2019年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

北播磨総合医療センター心臓血管外科 山田 章貴
電話0794-88-8800（代表）